

2022年5月10日

各位

会社名: 富士石油株式会社
 代表者名: 取締役社長 山本 重人
 (コード番号: 5017 東証プライム市場)
 問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 鈴木 龍司
 TEL: (03) 5462-7803
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

2022年3月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2022年2月10日に公表の2022年3月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年2月10日発表)	470,500	5,800	5,100	5,400	70.07
今回発表実績(B)	485,302	15,539	16,076	15,203	197.29
増減額(B-A)	14,802	9,739	10,976	9,803	
増減率 (%)	3.1	167.9	215.2	181.6	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	344,612	7,098	8,293	6,528	84.72

2. 差異の理由

前回の予想は、第4四半期平均でドバイ原油価格を75ドル/バレル、為替レートを110円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、96.2ドル/バレル、116.3円/ドルとなりました。

売上高は、原油価格の高騰による製品販売価格の上昇により、前回予想を148億円上回りました。また損益についても、原油価格の高騰を受けて在庫影響(総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響)が187億円の原価押し下げ要因(前回予想は127億円の原価押し下げ要因)となったことに加え、国内石油製品市況の急激な上昇により製品マージンが改善したこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を上回る結果となりました。

以上